

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5 年

6月25日(水)4時間目

国語 「インターネットは冒険だ (5/7)」

本時のねらい

◎要旨をどのようにまとめればよいか理解する。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○正木先生の本時部分です。要旨を「書く」ハードルを、「消す」作業を取り入れることで下げられるか…試してみます！

段 階	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
	1. 要旨について振り返る。	○「見立てる」の要旨を確認し、本時の学習の見通しをもつ。
	要旨のまとめ方を考えよう。	
	展開1 2. 文章の構成を振り返る。 T「主張だけでは、要旨ではない。」 要旨を書くポイント(1)筆者の主張を入れる。 3. 中身の大事な部分を考える。 T「全部読むのは大変。中の内容を上手くまとめている部分はどこ？」 C「結論」 要旨を書くポイント(2)中身の大事な部分を入れる。	・双括型であること、筆者の主張はどの段落にあるかをペアで確認させる。 ・前時までに作成したセンテンスカードに注目し、まとめから事例に戻る構図から考えさせる。
	展開2 4. 自分が要旨に必要なと思う「筆者の主張」「中身の大事な部分」を本文から選ぶ。 T「要旨を書くときに必要なのは？」 T「筆者の主張はどこにあったかな？」	・自己内対話の時間を十分に確保する。 ・本文を焦点化し、結論部分のみを提示することで、必要な部分だけを残して大事な言葉を見付けやすくする。 ▲机間指導をしながら、必要な言葉を見付けられない児童に対して思考を促す言葉掛けをする。
	5. 「筆者の主張」と「中身の大事な部分」を選び、150字以内で要旨を作る。	・個人、ペア・トリオを選択させて取り組ませることで、学習の個別化を図り、児童の「考えたい」を高める。 ▲ワークシートにマス目を入れ、文字数が分かるようにすることで不要な言葉を考えやすくする。 ▲筆者の主張、中身の大事な部分を残すように繰り返し言葉掛けをする。
	6. 友達との要旨を見比べ、気付いたことや良い点を共有する。	・友達との要旨の違いから、自分の要旨に必要な言葉に気付いたり、不要な言葉に気付いたりできるようにする。
	7. 「要旨とは、」に続く文を書く。	・めあてに対応させ、要旨をどのようなやり方でまとめたか自分の言葉でまとめる。 ▲自分の言葉でまとめを書くことを苦手とする児童には、どのようにして要旨をまとめたかを振り返る言葉掛けをする。

☆要旨をどのようにまとめれば良いか理解している。

(ノート・観察)

B 評価

「要旨とは、いらない部分を削って作る。」

A 評価

「要旨とは、いらない部分を削り、筆者の主張や中身の大事な部分を残して作る。」